

食品安全委員会の 1 月の運営について

1. 食品安全委員会の開催

第414回 1月12日（木）

(1) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

飼料添加物及び動物用医薬品（1品目）	オキシテトラサイクリン、クロルテトラサイクリン及びテトラサイクリン
遺伝子組換え食品等（1品目）	LU11439株を利用して生産されたりボフラビン

(2) 遺伝子組換え食品等専門調査会における審議結果についての報告

- ・同専門調査会から報告された以下の案件について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

遺伝子組換え食品等（1品目）	BR151 (pUMQ1) 株を利用して生産された4- α -グルカノトランスフェラーゼ
----------------	---

(3) 微生物・ウイルス専門調査会における審議結果についての報告

- ・食品安全委員会が自ら行う食中毒原因微生物に関する食品健康影響評価について、担当委員の熊谷委員及び事務局から説明後、以下のことを決定
- ・報告のあった5案件「非加熱喫食調理済み食品（Ready-to-eat 食品）におけるリステリア・モノサイトゲネス」、「ブタ肉におけるE型肝炎ウイルス」、「二枚貝におけるA型肝炎ウイルス」、「鶏肉におけるサルモネラ属菌」及び「生鮮魚介類における腸炎ビブリオ」について、現時点における「とりまとめ」とすることとし、今後、指摘のあったデータの収集や食中毒患者の発生状況の注視等に努めていくこととなった。

(4) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

清涼飲料水関連物質（1品目）	ウラン
遺伝子組換え食品等（2品目）	高オレイン酸含有ダイズDP-305423-1と除草剤グリホサート耐性ダイズMON-04032-6を掛け合わせた品種、BR151 (pUAQ2) 株を利用して生産された6- α -グルカノトランスフェラーゼ

(5) 平成24年度食品安全委員会予算案の概要及び定員要求結果の概要について

- ・事務局から報告。

(6) 食品安全関係情報（12月3日～12月16日収集分）について

- ・事務局から報告。

(7) 平成24年度食品安全モニターの募集について

- ・事務局から報告。

第415回 1月19日（木）

(1) 食品健康影響評価の要請

- ・「食品中のリステリア・モノサイトゲネスに係る規格基準を設定することについて」（微生物・ウイルス（1品目））及び「食品中の放射性物質の規格基準を設定することについて」リスク管理機関から説明。
- ・「食品中の放射性物質の規格基準を設定することについて」は、「食品安全委員会が既に食品健康影響評価の結果を有している評価結果について、食品安全基本法第24条の規定に基づき意見を求められた場合の取扱いについて」の1の(1)の「委員会が、関係大臣から提出された資料等により新たな科学的知見の存在を確認できないときは、食品安全基本法第11条第1項第2号に該当するものと認められる旨を関係大臣に通知することができるものとする。」という規定に基づき、現時点で改めての食品健康影響評価は行わないこととし、事務局において手続を行うこととなった。

(2) 各専門調査会における審議結果についての報告

- ・農薬専門調査会、遺伝子組換え食品等専門調査会及び新開発食品専門調査会から報告された以下の案件について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬（4品目）	クレソキシムメチル、テブフロキン、ビキサフェン、フルトリアホール
遺伝子組換え食品等（5品目）	DP-No. 1株を利用して生産されたアスパルテーム、BDS株を利用して生産されたL-セリン、RGB株を利用して生産されたL-アルギニン、CN01-0118株を利用して生産された5'-イノシン酸二ナトリウム、KCJ-1304株を利用して生産された5'-グアニル酸二ナトリウム
新開発食品（2品目）	まめちから 大豆ペプチドしょうゆ、大人ダカラ

(3) 松原内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）挨拶

- ・同大臣から挨拶が行われた。

(4) 食品安全関係情報（12月17日～1月5日収集分）について

- ・事務局から報告。

(5) 食品安全委員会の12月の運営について

- ・事務局から報告。

第416回 1月26日（木）

(1) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

農薬（１８品目）	サフルフェナシル、シアゾファミド、スピネトラム、ピラクロストロビン、フルベンジアミド、ペンディメタリン、ペンフルフェン、ボスカリド、フルオルイミド、エチオン、カルボフラン、キャプタン、ダイアジノン、ホスメット、ホレート、シハロトリン、ジクロルボス及びナレド、アラクロール
農薬及び動物用医薬品（２品目）	テフルベンズロン、シハロトリン
動物用医薬品（１品目）	スルファジミジン
特定保健用食品（３品目）	コタラエキス、キシリトール オーラテクトガム＜クリアミント＞、キシリトール オーラテクトガム＜スペアミント＞

(2) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

農薬（３品目）	トリフルラリン、フルチアニル、メタゾスルフロン
---------	-------------------------

(3) 食品安全モニターからの報告(平成２３年９月、１０月分)について

- ・事務局から報告。

2. 専門調査会の運営

(1) 添加物専門調査会

第103回 1月27日（金）

- ・「*Chryseobacterium proteolyticum*9670株を利用して生産されたプロテイングルタミナーゼ」について調査審議し、意見に対する回答案を一部修正すること、追加試験の実施可能性を厚生労働省を通じて照会することとされ、その結果が得られた段階で再度審議することとなった。

(2) 農薬専門調査会

第79回 幹事会 1月13日（金）

- ・「ビキサフェン」、「テブフロキン」、「フルトリアホール」、「クレソキシムメチル」、「シメコナゾール」、「シラフルオフェン」、「ピラフルフェンエチル」、「メタフルミゾン」及び「レピメクチン」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。
- ・「フルチアニル」及び「メタゾスルフロン」について、意見に対する回答案が了承され、評価書(案)について一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。
- ・「アバメクチン」について、意見に対する回答案が了承された。
- ・「イソキサチオン」について、事前の検討の結果、評価第三部会において調査審議することとなった。

- ・「フィプロニル」について、事前の検討の結果、評価第四部会において調査審議することとなった。
- ・「フルオピラム」について、事前の検討の結果、評価第二部会において調査審議することとなった。
- ・「プロピコナゾール」について、事前の検討の結果、評価第一部会において調査審議することとなった。

第14回 評価第三部会 1月18日（水）※非公開

- ・「イソキサチオン」について調査審議し、継続審議することとなった。

第14回 評価第四部会 1月23日（月）※非公開

- ・「フィプロニル」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、農薬専門調査会幹事に報告することとなった。ただし、確認事項に対する回答について評価部会で確認することとなった。

（3）動物用医薬品専門調査会

第136回 1月30日（月）

- ・「アザペロン」について調査審議し、継続審議することとなった。

（4）化学物質・汚染物質専門調査会

第7回 幹事会 1月27日（金）

- ・清涼飲料水中の化学物質（水銀、クロロ酢酸、ジクロロ酢酸、トリクロロ酢酸）の規格基準改正」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

（5）プリオン専門調査会

第67回 1月19日（木）

- ・「牛海綿状脳症（BSE）対策の見直し」について、厚生労働省から諮問に至る背景、諮問内容、提出資料等について説明後、質疑応答が行われた。
- ・事務局から、これまでに実施されたBSEに係るリスク評価内容について説明があり、今後の審議の進め方について議論が行われた。
- ・今後の調査審議を効率的に進めるため、座長からの提案により、起草委員を設けて、科学的知見等の確認、資料作成等を行った上で次回以降の専門調査会で調査審議を行うこととされた。起草委員の人選については座長に一任となった。
- ・米国及びカナダにおける牛肉の対日輸出認定施設等の現地査察結果について、厚生労働省及び農林水産省から報告が行われた。

（6）遺伝子組換え食品等専門調査会

第100回 1月13日（金）※非公開

- ・「CN01-0118株を利用して生産された5'-イノシン酸二ナトリウム」、「KCJ-1304株を利用して生産された5'-グアニル酸二ナトリウム」及び「チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシBt11系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR162系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシGA21系統からなる組合せの全ての掛け合わせ品種（スイートコーン）」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。
- ・「LU11439株を利用して生産されたリボフラビン」及び「アリルオキシアルカノエート系除草剤耐性トウモロコシ40278系統（食品・飼料）」について調査審議し、継続審議することとなった。

った。

(7) 微生物・ウイルス専門調査会

第28回 1月17日(火) 薬剤耐性菌に関するワーキンググループ

※第51回肥料・飼料等専門調査会と合同で開催

- ・出席した専門委員及び専門参考人の紹介、合同専門調査会の運営等についての説明及び座長の選出。
- ・「鶏に使用するフルオロキノロン系抗菌性物質製剤」に係る薬剤耐性菌のリスク評価の対象となるハザードとして特定すべき薬剤耐性菌の種類等について調査審議し、専門委員からの意見を踏まえて、評価書(案)を作成することとなった。

(8) 肥料・飼料等専門調査会

第52回 1月24日(火)

- ・「オキシテトラサイクリン、クロルテトラサイクリン及びテトラサイクリン」並びに「ドキシサイクリン」について調査審議し、継続審議することとなった。

3. 意見交換会の開催

(1) 意見交換会

食品に関するリスクコミュニケーション～食品中の放射性物質対策に関する説明会～

1月16日(月) <東京都>

- ・厚生労働省との共催により開催。
- ・熊谷委員長代理から食品中の放射性物質に係る評価書の概要について、厚生労働省から食品中の放射性物質の新たな基準値案及び検査について、農林水産省から農業生産現場における対応について講演を行った。
- ・講演者と参加者との質疑応答を行った。

食品のリスクを考えるフォーラム(豊田市)～食中毒菌のリスク評価と適切な調理～

1月17日(火) <愛知県>

- ・豊田市との共催により開催。
- ・事務局から食中毒原因微生物のリスク評価について、豊田市から検査等の状況について情報提供を行った後、参加者からの「質問カード」の紹介と参加者による発言を交えながら意見交換を行った。

食品のリスクを考えるフォーラム(群馬県)～食品と放射性物質～

1月19日(木) <群馬県>

- ・群馬県及び群馬県生活協同組合連合会との共催により開催。
- ・事務局から放射性物質のリスク評価について、群馬県から検査等の状況について情報提供を行った後、参加者からの「質問カード」の紹介と参加者による発言を交えながら意見交換を行った。

食品に関するリスクコミュニケーション～食品中の放射性物質対策に関する説明会～

1月24日(火) <福島県>

- ・厚生労働省との共催により開催。
- ・山添康・放射性物質の食品健康影響評価に関するワーキンググループ座長から食品中の放射性物質に係る評価書の概要について、厚生労働省から食品中の放射性物質の新たな基準値案及び検査について、農林水産省から農業生産現場における対応について講演を

行った。

- ・講演者と参加者との質疑応答を行った。

食品のリスクを考えるフォーラム（広島市）～生食用食肉のリスク～

1月27日（金）＜広島県＞

- ・広島市との共催により開催。
- ・事務局から生食用食肉のリスク評価について、広島市から検査等の状況について情報提供を行った後、参加者からの「質問カード」の紹介と参加者による発言を交えながら意見交換を行った。

食品のリスクを考えるフォーラム（大田区）～食品と放射性物質～

1月31日（火）＜東京都＞

- ・大田区との共催により開催。
- ・事務局から放射性物質のリスク評価について、大田区から検査等の状況について情報提供を行った後、参加者からの「質問カード」の紹介と参加者による発言を交えながら意見交換を行った。

食品に関するリスクコミュニケーション～食品中の放射性物質対策に関する説明会～

1月31日（火）＜福岡県＞

- ・厚生労働省との共催により開催。
- ・事務局から食品中の放射性物質に係る評価書の概要について、厚生労働省から食品中の放射性物質の新たな基準値案及び検査について、農林水産省から農業生産現場における対応について講演を行った。
- ・講演者と参加者との質疑応答を行った。

（２）講師等派遣

- ・地方公共団体や各種団体が企画した講演会等に委員が講師として参加した。

月 日	講演会名	対応委員
1月11日	平成23年度食品・乳肉衛生関係業務研修会 (山口県)	熊谷委員長代理